

「北海道におけるICTを活用した観光情報等提供モデルの調査検討会」 第2回会合【議事要旨】

1 日 時 平成21年12月8日（火） 16：25～17：30

2 場 所 北海道総合通信局第1会議室

3 出席者

(1) 構成員（五十音順、敬称略）

赤松 勲、荒井 功（座長代理）、遠藤 好朗、金子 敦、
川人 正善、小林 稔、近藤 敦志（代理：大槻 昌弘）、
玉置 俊治、濱田 康行（座長）、舟本 秀男、堀口 徳久、
柳屋 圭吾、山本 孝司、渡辺 修

(2) 北海道総合通信局

大久保北海道総合通信局長、今田情報通信部長、今井電気通信事業課長

4 議事次第

(1) 開会

(2) 議事

- ア 第1回会合の議事要旨の確認
- イ 開催要綱の改正について
- ウ 実証実験の実施計画（案）について
- エ 報告書骨子（案）について
- オ その他

5 議事概要

【第1回会合議事要旨】

- 事務局から資料2-1「北海道におけるICTを活用した観光情報等提供モデルの調査検討会」第1回会合議事要旨を説明し、確認された。

【開催要綱の改正】

- 事務局から資料2-2「北海道におけるICTを活用した観光情報等提供モデルの調査検討会」開催要綱（平成21年12月2日）を説明し、確認された。

【実証実験の実施計画（案）】

- ワーキンググループ（WG）の遠藤主査及び須藤構成員から資料2-3「簡便型デジタルサイネージによる観光情報等提供モデル」の実証実験の実施計画（案）を説明し、各検討事項毎に確認、決定した。
 - 実証実験の期間と場所は次のとおりとすること。
 - 実験期間：平成22年2月1日（月）～同年2月14日（日）
 - 設置場所：JR札幌駅西コンコース北口「北海道さっぽろ観光案内所」

- 実験される機能は次のとおりとすること。
 - 表示装置：2台設置し、タッチパネル対応（サイネージA）は双方向型の情報端末として小口CM等に使用し、フルハイビジョン対応（サイネージB）はリッチコンテンツ用として使用。
 - 表示方法：サイネージAは上段にニュース、天気予報、中段に観光情報等の動画・静止画、下段に観光、物販、飲食等の小口CM。サイネージBは行政情報等のテロップとリッチコンテンツ。
 - 表示画面：サイネージAの小口CMの画面枠、コンテンツの入れ替え、インデックス、クーポン表示等。
- コンテンツは構成員の協力で収集することとし、小口CMの収集は30～40程度を目安とすること。
- 実験に使用するシステムの仕様概要について資料2-3の提案のとおりとすること。

【報告書骨子（案）】

- 事務局より資料2-4「北海道におけるICTを活用した観光情報等提供モデルの調査検討会」報告書骨子（案）を説明し、確認された。濱田座長から、実証実験の内容、実験結果を踏まえた実用モデルの提案に注力して記述するようコメントがあった。なお、執筆分担は別途事務局から構成員に相談することとされた。

【その他】

- 日本ケーブルテレビ連盟北海道支部の金子構成員から、デジタルサイネージの街角情報掲示板としての役割を紹介。
- 大久保局長から、簡便型デジタルサイネージの認知度向上のため、小口CM提供者への利活用コストイメージの提示と、小口CMの情報更新等に当たっての簡便性の体験デモの実施について、次回のWGでの検討提案があり、検討することとされた。
- 事務局より第3回会合までの事務や日程等を説明した。
 - 実証実験の実施計画（案）が決定されたので外部請負の調達手続きを進めること。
 - 来年1月に構成員に実証実験の開始案内をすること、併せて構成員もできる限り関係団体等に実証実験開始のPRをお願いしたいこと。
 - 第3回会合までのスケジュールは以下のとおり。
 - <平成22年>
 - 1月21日（木）第4回WG
 - 2月1日（月）～2月14日（日）実証実験期間
 - 2月23日（火）第5回WG
 - 3月2日（火）第6回WG
 - 3月9日（火）第3回調査検討会（最終回）

以上